

ルイビル大学

University of Louisville



●学部学生 15,893人 ●大学院生 6,400人 ●教職員 4,585人 ●留学生 1,200人

ホームページ <http://www.louisville.edu/>

交流協定締結年月日：1997年9月2日 主管学部：法学部

国際交流の特色

ルイビル大学は、ケンタッキーの最も大きい都市部に位置する、州立の研究大学である。1970年に現在の大学システムに統合される前の数十年の間は、自治体で運営される公共機関であった。大学には、3つのキャンパスがある。メインキャンパスである274エーカーのベルクナップ・キャンパスは、ルイビルの繁華街から3マイル離れたところにあり、11の学部とスクールで構成する、7つの大学の建物を有している。健康科学センターは、ルイビル中心街の医学の複合体であり、大学の健康に関連する諸事業体とルイビル大学病院がある。東ジェファーソンカウンティに位置する243エーカーのシェルビー・キャンパスには、全米犯罪防止研究所と情報技術資源センターがある。



交流実績（平成26年度～28年度）

年度	H26	H27	H28
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	1	0
研究者・職員の派遣	2	0	1



教員からの声

2015年3月、ルイビル大学ロースクールへの研究者派遣が行われた。同ロースクールは、わが国憲法学が範としてきたアメリカ憲法学に重要な理論を展開したルイス・ブランドイス氏（Louis Brandeis）の名を冠した由緒あるロースクールである。

この訪問では、2泊3日という強行日程もあって、必ずしも十分な準備期間はなかった。けれども、受け入れ担当のRussell L. Weaver教授から、たいへんな歓迎とおもてなしを受け、親身な対応をしていただいた。Weaver教授は、これまでに本学部と大学院で数度にわたり特別講義と講演をなされるなど、大変な親日家である。他方で、本学からは、これまで中山充名誉教授、植松真生教授、肥塚肇雄教授らの派遣が行われており、本学とルイビル大学ロースクールとの強固な友好関係を築くことにつながっている。

また、2015年の訪問によって、2016年1月、Weaver教授による講演会が開催され、アメリカの司法制度に僅かな時間ながらも肌に触れることができた。さらには2017年2月にも再訪問をし、Weaver教授の同僚のJohn Cross教授の紹介を受けるなど、継続的な交流だけではなく、新しい交流も生じており、今後もこのような機会を活かしていきたいと考えている。



法学部准教授 小澤 久仁男